

# 一般財団法人國學院大學院友会 平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日まで

## ◇ 概 要 ◇

平成 24 年 10 月 1 日付にて「一般財団法人」への移行登記を完了。國學院大學の同窓会組織として、本部支部一体となって、学生支援、大学への協力、公益事業等「公益目的支出計画」に則した事業を進めた。

また、東日本大震災被災学生についても大学の支援体制へ協力するとともに、支部・地域が行った失われゆく伝承や伝統文化・芸能の再興活動を支援した。

## ◇ 事 業 ◇

### ◎【育成事業】

#### ■國學院大學学生等支援

## ◇ 実 施 事 業

#### ◆「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続事業〕

→ 学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に 100,000 円を支援した。

スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に  
各 500,000 円を支援した。

・平成 25 年度寄付金額等 2,260,003 円

・平成 26 年 3 月末残高 8,985,620 円

#### ◆「司法試験奨学金」制度による支援〔継続実施〕

→ 「短答式試験」合格者に、各 50,000 円を支給した。

25 年度の支援は 6 名。返済は不要。 合計 300,000 円

#### ◆教職を目指す学生の支援〔継続実施〕

→ 「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校教員を志す学生に贈呈した。

… 平成 17 年度から支援

・渋谷キャンパス→小学校学習指導要領 100 冊、中学校学習指導要領解説総則編 100 冊、高等学校学習指導要領解説総則編 100 冊、生徒指導提要 100 冊。

… 計 400 冊

・たまプラーザキャンパス→小学校学習指導要領解説総則編 115 冊、中学校学習指導要領解説総則編 115 冊、中学校学習指導要領解説保健体育編 95 冊、高等学校学習指導要領解説保健体育編 95 冊。… 計 420 冊

→合計 820 冊 179,000 円(税込)

#### ◆『新社会人キャリア講座【前期】』… 國學院大學主催／本会協力

→母校キャリアサポート課と連携して、新社会人となる学生達へ、職場や訪問・接客時の礼儀作法、並びに文書の書き方等を学んでもらう講座。内容は学生の要望や社会の要請に則したものと。学生への奨学奨励として実施した。

→受講料 無料(会場費等は本会負担。学生対象の講座)

・7月30日(火)12:50～、「法律知識編」

東京労働局労働基準局長 相浦亮司氏：学生 10 名参加。

・7月31日(水)12:50～、「ビジネスマナー編」

國學院大學就職アドバイザー 竹内慶子氏：学生 10 名参加。

#### ◆『新社会人キャリア講座【後期】』

・12月17日(火)12:50～、「ライフプラン法律知識編」

文化放送キャリアパートナーズ研究員 平野恵子氏：学生 21 名参加。

・12月20日(金)12:50～、「ビジネスマナー編」

総合マナーコンサルタント村上侑美枝(正)氏：学生 15 名参加

#### ◆「院友会長賞」による支援〔継続実施〕

・対象者：平成 24 年度選考では、学生部門該当なし。

#### ◆卒業生との交流。

→学生にとっては、日ごろの研究・活動成果の発表の場でもある若木祭(学園祭)期間中の 11 月 2 日(土)に、母校渋谷キャンパスにてホームカミングデーが開催され、1,300 名を超える卒業生や一般の方、関係者が来校した。この折に、物産展出店時に、支部の広報活動も含めて現役学生達と卒業生との接点を

持ち、学生達の就職支援、相談など、普段交流や情報交換の難しい地方（支部）の先輩達とも、気軽に交流が出来るように支援し、交流を行った。  
→全国の各支部から25年度は、青森県支部、福島県浜通り支部、栃木県支部、長野県支部の4支部が、物産展として参加、協力した。

■会館施設の貸与、または経費の補助

◆公益また育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助を行った。〔継続実施〕

◆育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の経費の減免を行った。

◆國學院大學の授業、諸講座への会館施設の貸与〔継続実施〕

→ 國學院大學渋谷キャンパス旧体育館跡地での建設工事に伴い、その工事期間中、本会館での授業等を行うことに協力した。：合計 82 コマ  
(火曜：1コマ、金曜：2コマ、土曜日：1コマ) / 1コマ=90分  
・補助金額 6,882,855円 ・対象件数 239件

■全国の高校生を対象とした文化支援事業

→高校生対象の母校事業を協力支援した。

◆「第17回 全国高校生創作コンテスト」に協力支援〔継続実施〕

- ・主催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
- ・協賛：本会、若木育成会
- ・後援：文部科学省

◆「第9回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」への協力支援〔継続実施〕

- ・主催：國學院大學、高校生新聞社（共催）
- ・協賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部
- ・後援：農林水産省、全国高等学校校長協会

◎【講座・講演会事業】

→國學院の培ってきた学問を中心に、我国の伝統的な文化を広く社会に継承すべく、豊かな人間形成を目的とした講座や講演会等を開催した。

◆『古事記全講研究会（第21期）』を開催した。

- ・講師：中村啓信氏（61文・63修文・66博文／國學院大學名誉教授）
- ・日時：・平成25年5月15日、6月12日、7月10日、9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、平成26年1月22日、2月12日、3月12日 / 全10回  
→毎水曜日 14:30~16:00
- ・会場：院友会館 3階 大会議室
- ・受講生：46名（申込）
- ・受講料：15,750円（税込10回分）

ただし、前回受講者と本会メンバーズカード所有者は14,175円（税込10回分）。また、学生（学部学生・大学院生）は10,500円（税込10回分／学生証提示）

◆『源氏物語講座（第7期）～玉鬘（たまかづら）の巻を読む～』を開催した。

- ・講師：針本正行氏（82文・84修文・87博後文／國學院大學副学長・文学部教授・本会副会長）
- ・日時：平成25年4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月5日、10月7日、11月11日、12月9日、平成26年1月20日、3月10日／全10回  
→毎月曜日 13:30~15:00
- ・会場：院友会館 3階 大会議室
- ・受講生：19名（申込）
- ・受講料：15,750円（税込10回分）

ただし、前回受講者と本会メンバーズカード所有者は14,175円（税込10回分）。また、学生（学部学生・大学院生）は10,500円（税込10回分／学生証提示）

◆院友学術振興会公開講座『國學院の古典』（第17回）を、協力団体との共催事業として開催した。当日の講義に至る案内や広報活動、チラシ作成、資料準備、会場設営、受付、などを本会が受け持った。

- ・内容：國學院大學で学位を得た先生方の会で、協力団体でもある

院友学術振興会との共催で、古事記・万葉集・源氏物語  
中国文学・風土記・国語学など、國學院が培ってきた学問  
を基に、多彩な分野から講義を行った。

・日 時：平成26年1月14日（火）～18日（土）の5日間で開催。

①13：00～14：30 ②14：50～16：20

・会 場：院友会館 3階大会議室にて。

・定 員：各70名 一般公開

・後 援：渋谷区・渋谷区教育委員会・國學院大學

・受講料：一日 1,000円（税込）

平成26年1月14日	①古事記	谷口雅博氏	97名
	②万葉集	城崎陽子氏	100名
15日	①源氏物語	秋澤 瓦氏	77名
	②万葉集	近藤信義氏	77名
16日	①中国文学	松田 稔氏	88名
	②古事記	菅野雅雄氏	97名
17日	①国語学	浅川哲也氏	76名
	②古事記	山崎かおり氏	82名
18日	①源氏物語	針本正行氏	53名
	②源氏物語	林田孝和氏	52名

◆生活芸術講座の開催〔継続実施〕

・一般社団法人儀礼文化学会と本会の共催講座。

→ 儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付ける。その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。2講座を開講した。

→ 講師謝礼、資料代等は儀礼文化学会が負担。会場費等は本会。

①・内 容：『冬の茶花 一炉開き・口切・師走ー』

・講 師：宗徧流正伝庵家元後嗣 岩田宗珪氏

・日 時：平成25年11月10日（日） 14：00～16：00

・会 場：院友会館 地下大ホール

・受講料：2,600円 35名受講（内 本会参加者5名）

②・内 容：『投扇興のあそび』 ※実際に遊びを体験した。

・講 師：儀礼文化学会遊戯文化研究会

・日 時：平成26年1月26日（日） 13：00～16：00

・会 場：院友会館 4階 大広間

・受講料：2,000円 36名受講（内 本会参加者3名）

◆國學院大學・國學院大學院友会連携講座〔新規実施〕

→無料・一般公開

母校エクステンション事業課との初めてとなる連携講座。母校が培ってきた知的財産を公益事業として広く一般へ資することを図った。

講師謝礼、会場費用は本会負担。資料作成は大学。

・内 容：万葉集『大王御製の意義』

・講 師：城崎 陽子氏（93文・95博前文・98博後文  
／國學院大學兼任講師・文学博士）

・日 時：平成26年2月22日（土） 13：00 ～ 14：30

・会 場：院友会館 3階 大会議室

・受講生：93名（申込）／73名受講

・受講料：無料

◆《平成25年度院友大会》 一般公開講演会の開催〔継続実施〕

・講 師：岡野弘彦氏

（56学部／國學院大學名誉教授・歌人・日本芸術院会員）

・演 題：『國學院の学問』－折口博士没後60年をむかえて－

・日 時：平成25年5月25日（土） 17：00 ～ 18：00

- ・会 場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
- ・入場料：無料
- 約 420 名聴講。

◆東日本大震災被災地支援事業 [継続実施]

→ 被災地域における伝統文化や伝統芸能の再興、心の復興のため、支部が主管する事業を支援した。

[福島県浜通り支部]：《よみがえれ浜通り！東日本大震災からの復興》

- ・費 用：500,000 円（講師謝礼含む）

①『いわきキヤコン（口琴）の夕べ』

…ロシア・サハ共和国「アヤルハーン」公演会

- ・講 師：日本口琴協会理事長 直川礼緒氏  
ロシア・サハ共和国 女性口琴ヴォイストリオ
- ・日 時：平成 25 年 10 月 7 日（月） 18：00～20：00
- ・会 場：いわき市芸術文化交流館 アリオス音楽小ホール
- ・入場料：無料 一般公開

→ 190 名来場

- ・主管団体：國學院大學院友会福島県浜通り支部（主催）
- ・共 催：日本口琴協会・いわき口琴愛好会・本会
- ・後 援：一般社団法人在日サハ共和国委員会、公益財団法人いわき市国際交流協会 他
- ・協 力：国際舞台芸術交流センター

②口琴演奏法講習会も開催

- ・日 時：12 月 22 日（日） 10：00～15：00／郡山の開成山大神宮にて。  
： 3 月 9 日（日） 10：00～ /福島北幹線第一仮設住宅にて。

◆「公益事業実施規程」に基づき【もっと日本を学ぼう】を統一テーマに、講演会やさまざまな事業を、支部と共に公益事業として青森県支部、福島県浜通り支部、神奈川県支部、和歌山県支部の 4 支部が実施した。[継続実施]

[青森県支部]：「國學院大學文化講演会 in 青森」（一般公開）を開催した。

- ・本部事業として青森県支部が主管する公開講演会を弘前市で実施した。
- ・講 師：國學院大學文学部教授・秋澤互氏（92 文、94 博前文、98 博後文）
- ・日 時：平成 25 年 9 月 20 日（金） 14：20～15：30
- ・テーマ：『目で見て学ぶ源氏物語』／高校古典講座
- ・会 場：青森県立弘前中央高校講堂
- ・聴講者：250 名
- ・日 時：平成 25 年 9 月 21 日（土） 15：00～16：00
- ・テーマ：『日記文学の本義』／文化講演会
- ・会 場：ベストウエスタンホテルニューシティ弘前「アメジストの間」
- ・聴講者：130 名
- ・受講料：無料
- ・費 用：150,000 円
- ・主管団体：國學院大學院友会青森県支部（主催）
- ・後 援：國學院大學
- ・共 催：本会、國學院大學若木育成会、同青森県支部
- ・後援団体：東奥日報新聞社、陸奥新報社、津軽新報社、青森放送、エフエムアップルウエーブ、エフエム青森

[福島県浜通り支部]：「地域の伝承文化に学ぶ」よみがえれ浜通り！東日本大震災からの復興（一般公開）を 2 回開催した。

- ・日 時：① 平成 25 年 7 月 14 日（日） 13：00～16：30
- ・講 師：『地域の伝承文化に学ぶ』講演会  
國學院大學文学部教授・小川直之氏（83 文）  
『幼児教育と神話劇』脚本家 内山典子氏（72 史）他
- ・会 場：いわき市文化センター

- ・聴講者：70名
  - ・日時：②平成25年9月7日（土） 10：00～12：00
  - ・講師：『飯野八幡宮の祭礼とキヤコン（口琴）』  
日本口琴協会理事長 直川礼緒氏
  - ・会場：いわき市文化センター／飯野八幡宮
  - ・聴講者：約100名
  - ・受講料：無料
  - ・費用：300,000円
  - ・主管団体：國學院大學院友会福島県浜通り支部（主催）
  - ・共催：本会
  - ・後援：公益社団法人福島県私立幼稚園連合会、いわき地域学会、プロジェクト 傳、福島民報社、福島民友新聞社、いわき民報社、福島テレビ、福島中央テレビ、シーウエイヴFMいわき
- 〔神奈川県支部〕：「國學院大學公開講演会」（一般公開）を開催した。
- ・講師：國學院大學学長・赤井益久氏（88博前日本文学、91博後日本文学）
  - ・日時：平成25年6月22日（土） 15：00～16：30
  - ・テーマ：『七夕と乞巧奠（きっこうてん）』
  - ・会場：鶴岡八幡宮 直会殿
  - ・聴講者：130名
  - ・受講料：無料
  - ・費用：300,000円
  - ・主管団体：國學院大學院友会神奈川県支部（主催）
  - ・共催：本会
  - ・後援：神奈川県教育委員会、鎌倉市教育委員会、神奈川新聞社、産経新聞社 横浜総局、鶴岡八幡宮 槐の会
- 〔和歌山県支部〕：「國學院大學和歌山県公開文化講座」（一般公開）を開催した。（この講座自体は15回目）
- ・日時：平成25年9月14日（土） 14：00～16：30
  - ・講演：『最近の発掘から見た和歌山県の古墳時代』  
元県立風土記の丘館長 中村貞史氏（75史・77修史）  
『柳田國男・折口信夫と和歌山県』  
國學院大學文学部教授・小川直之氏（83文）
  - ・会場：和歌山県民文化会館
  - ・聴講者：約30名
  - ・受講料：無料
  - ・費用：48,575円
  - ・主管団体：國學院大學院友会和歌山県支部（主催）
  - ・共催：本会
  - ・後援：若木育成会和歌山県支部
- ◆サロン・コンサートの開催。
- ・豊かな人間形成を目的とした事業の一環で、学生のみならず地域社会への貢献を目的として3日にコンサートを実施した。
  - ・入場無料・会館1階ロビーにて開催。クラシック、ジャズ、タンゴなどジャンルを問わず、幅広い楽しいコンサートを実施した。
- 第7回、8回、9回の3回開催。
- \*第7回 サロン・コンサート
- …サクスカルテットで映画音楽を中心に、開催した。
    - ・平成25年7月20日（土） 14：30～16：15
    - ・院友会館1階ロビー
    - ・主催：本会
    - ・演奏：グリーントーン～サクスカルテット～  
ソプラノサクス…津田真人／アルトサクス…後野吉昭

ナーサックス…小松崎美沙／バリトナックス…笹尾淳一

・曲目：「風と共に去りぬ」から～タラのテーマ～、枯葉、  
ムーンリバー 他

・無料・一般公開  
・来場者 95名

\*第8回 サロン・コンサート

…シャンソンを中心に開催した。

・平成25年12月7日(土) 14:30~16:00

・院友会館1階ロビー

・主催：本会

・演奏：ヴォーカル…田篠麻衣子／ヴォーカル…佐藤しんえい  
ピアノ…森 紀子

・曲目：セシボン、鈴懸の径、パリの屋根の下 他

・無料・一般公開

・来場者 74名

\*第9回 サロン・コンサート

…日本の名曲を中心に開催した。

・平成26年3月29日(土) 14:30~16:00

・院友会館1階ロビー

・主催：本会

・演奏：テノール…飯田康弘／ソプラノ…飯島香織  
ピアノ…中島由美子

・曲目：花は咲く、朧月夜、砂山の、この道 他

・無料・一般公開

・来場者 96名

◎【会館施設提供事業】

◆地域社会の健全な発展を目的とする会館利用への施設の提供、または経費の補助を実施した。

・補助金額 331,275円 ・対象件数 25件

◎【特定寄付】

■國學院大學への協力

◆東日本大震災支援関係〔継続実施〕

被災在学生の支援として、國學院大學で進めている支援制度への指定寄付を行った。…5,000,000円

◆國學院大學が進めている学生等への支援事業、その他全国の高校生対象の文化事業への寄付を行った。…800,000円〔継続実施〕

◎【同窓会事業】

①会報発行関係

■院友会報の発行

◆《院友会報》の編集発行…第351号から353号を編集発行した。

→「354号」…暑中見舞号／平成25年8月1日付、7月下旬に発送。

・会報作製 全16面／87,800部／2,138,808円(税込)／@23.2円

・会報発送 82,604件／発送費用 4,770,161円(税込)

・支部経由 茨城県支部 3,083件

→「355号」…新年号／平成26年1月1日付、12月中旬発送。

・会報作製 全16面／87,600部／2,115,540円(税込)／@23.0円

・会報発送 85,256件／発送費用 4,826,885円(税込)

\*355号作製後、会報発行費用の見直しを実施。費用減となった。

→「356号」…新院友歓迎号／平成26年3月23日付、3月下旬発送。

・会報作製 全16面／92,500部／1,474,357円(税込)／@15.18円

・会報発送 79,218件／発送費用 4,526,216円(税込)

・支部経由 茨城県支部 3,057件、栃木県支部 2,558件

■会員へのサービス

◆祝電など、電報サービスを実施した。

→結婚6、叙勲・褒章・褒賞・当選等、慶事42件の祝電を贈った。

合計 48 件

◆会報を使った「ビジネスサポート」による同封サービスの実施。

- ・ 354 号同封。 (@3,15 円×部数)
  - …東京都二十三区支部 15,818 部 (東京 23 区内)
  - …長野県支部 1,905 部 (長野県下)
  - …院友経済会 (協力団体) 82,542 部 (全国)

- ・ 356 号同封。
  - …長野県支部 1,895 部 (長野県下)

◆同期会、クラス会等の開催支援を行った。開催においては、キャンパス見学会を希望により実施した。

- ◆各支部、職域・地区部会、協力団体等の総会等開催支援を行った。
- ◆夫々会合の開催については、個人情報保護法を遵守しながら、名簿の出力などについて、大学への仲介を行った。

## ②会員統括組織化事業

### ■支部長会議の開催

◆《支部長会議：通算第 33 回》の開催〔継続実施〕

- ・日 時：5 月 25 日 (土/院友大会と同日) 13:30~16:10
- ・会 場：グランドプリンスホテル新高輪「平安」にて開催。
- ・備 考：支部長と事務局代表者、計 2 名を全国各支部から招聘
- ・59 支部中 58 支部と 4 協力団体から、支部長、事務局長、担当者ら 107 名が参加。大学からは赤井益久学長以下、9 名の役職員が参加した。
- \*一般財団法人への移行後、最初の支部長会議。特に具体的事務・会計処理など、説明や意見交換を行った。
- \*各支部と 4 協力団体に、新しい「支部旗」を贈呈した。
- \*ホームカミングデーへの新しい取り組みの説明と幅広い参加を促した。

### ■院友大会の開催

◆《平成 25 年度 院友大会》の開催〔継続実施〕

- ・日 時：5 月 25 日 (土)
  - 一般公開講演会 17:00 ~ 18:00 (前述)
  - 大 会 18:10 ~ 20:15
- ・会 場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
- ・会 費：10,000 円/ただし、第 121 期生 (新院友) ~ 第 119 期生までは 3,000 円/家族割引：家族 1 人目 5,000 円。参加 2 人目からは 1 人につき 3,000 円。
- ・大学若手職員と院友との交流促進を支援した。
- ・約 430 名余が参加した。

### ■新年院友交歓会の開催

◆《新年院友交歓会》を開催した。

- ・日 時：平成 26 年 1 月 26 日 (土) 17:00 ~ 18:55
- ・会 場：院友会館 地下大ホール
- ・会 費：6,000 円 / 同伴ご家族無料
- ・出席者：145 名
- \*強化三部会の監督や選手を招き、激励と交流を行った。また参加者全員参加で新年大福引大会を実施した。

### ■ホームページの運営

◆本会公式ホームページの活用 → <http://www.kokugakuin.or.jp>

- 母校・学生・各支部や院友情報を発信。会や会館の PR 等も行った。
- 情報セキュリティには万全を期した。
- スマートホン等への対応も含めて、リニューアルを検討、その準備に入った。

### ■院友会員のデータ管理

◆院友会報の発送やホームページでの会員情報の更新を行った。

- 院友データの整備により、会報の戻りを出来るだけ少なくした。
- ◆個人情報保護法・本会の個人情報に関する取り扱い諸規程を遵守した対応を行った。

### ■各支部総会等への出席

◆全国各支部総会等の会合へ本部から参加し、情報交換や交流、新法人への説明などを行い、交流を図った。

→支部総会、地区部会、職域、協力団体や院友神職会など70の会合・懇親会へ出席した。

### ③同窓会共通事項

#### ■「院友会長賞」の贈呈

◆学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称えた。〔継続実施〕 … 院友の部

24年度対象者として、山本東次郎氏へ贈呈。

・対象者：大蔵流 狂言師 山本 東次郎氏（69文/やまもと・とうじろう）

→長年、大蔵流狂言師として歩んでこられ、平成10年には紫綬褒章、平成24年には重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される等の業績と、これまでのご努力と研鑽を称えて贈呈した。 /副賞 100,000円

→贈呈式は平成25年度 院友大会席上で行った。

#### ■協力団体「院友学術振興会」 との協力連携を通して 学術の振興に寄与する

◆本会の協力団体であり、母校で学位を得た方々の会である「院友学術振興会」の活動を支援した。〔継続実施〕

→前述の公開講座『國學院の古典』（第17回）を、共催事業として開催した。

→母校を基盤とする学問支援として、学術振興会へ100,000円を贈呈した。

#### ■新卒業生の支援

◆新卒業生への記念品贈呈〔継続実施〕

→ 母校・若木育成会・本会の三者共催で卒業記念品（在学中の学報を縮刷版にして）を作製し、贈呈した。

#### ■大学への協力

◆「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報等を行った。

（院友会報、ホームページ、支部総会などでPRを行った）〔継続実施〕

◆大学実施の「神職養成講習会」への協力〔継続実施〕

→ 平成25年度は、「第129回」「第130回」の講習会の開催に協力。

「第129回」では36名の、「第130回」では30名の研修に協力支援した。

◆大学ホームカミングデー・渋谷キャンパス：11月2日（土）への協力を行った。〔継続実施〕

→11月2日（土）第5回の開催において、支部物産展や会館でのコンサート、お休み処（呈茶席）などを関係各団体の協力を得て実施した。

→全国の各支部から今年度は、青森県支部、福島県浜通り支部、栃木県支部、長野県支部の4支部が、物産展として協力、実施した。

・合計 347,000円を支援した。

#### ■院友の図書 整理分類他

◆大学図書館や図書館学司書ゼミの学生等の協力を得ながら、院友の寄贈図書、本会蔵書の整理分類を、関係各機関と打合せを重ね、スタートした。

〔新規実施〕

#### ■会費納入促進について

◆会報発送時に、会費納入者・未納者ごとに依頼状を同封した。

・平成25年度支部取り纏め納入…北海道道北、道東、道南、岩手県、宮城県、福島県中通り、福島県会津、茨城県、栃木県、埼玉県西、千葉県、東京都南多摩、山梨県、新潟県、福井県、静岡県東部、静岡県中部、大阪府、兵庫県、滋賀県、鳥取県、の21支部。

・神社…寒川神社、鶴岡八幡宮。

#### ■会費納入状況

◎年度会費	平成25年度	6,561,000円	2,189件
	24年度	6,651,000円	2,219件
	23年度	7,430,000円	2,477件
	22年度	6,133,000円	2,046件
	21年度	5,615,000円	1,873件

#### ◎十年会費（一般）

	平成25年度	7,320,000円	366件
	24年度	8,490,000円	425件
	23年度	9,270,000円	464件
	22年度	6,710,000円	336件
	21年度	6,610,000円	331件

◎十年会費（代理徴収）	平成25年度	47,700,000円	2,385件：121期生分
	24年度	46,500,000円	2,325件：120期生分

23年度	47,240,000円	2,362件：119期生分
22年度	46,520,000円	2,326件：118期生分
21年度	46,280,000円	2,314件：117期生分

◎【収益事業】

■会館の利用

- ◆近隣企業、学内に対し利用促進を図った。  
・会館事業収益合計 35,337,901円

■神職養成講習会への協力

- ◆大学が実施した前述の「神職養成講習会」に対しては、特別料金を設定して協力した。

◎【法人事業】

■顧問・参与との意見交換会を開催

- ◆「顧問・参与意見交換会」(通算第17回)を院友会館で開催した。  
→平成25年11月29日(金)12:30から本会館にて開催。  
出席顧問 2名/出席参与 2名

→近況報告や意見交換会を行った。〔継続実施〕

■評議員会・理事会の開催

- ◆第2回定時評議員会 平成25年6月13日(木) 13:32~15:05  
出席評議員 23名(30名中)

- ◆第5回理事会 平成25年5月15日(水)13:31~14:40  
出席理事 16名(26名中) 監事3名(3名中)

- 第6回理事会 平成25年12月13日(金)14:11~15:20  
出席理事 16名(26名中) 監事2名(3名中)

- 第7回理事会 平成26年3月20日(木)14:00~15:08  
出席理事 17名(26名中) 監事3名(3名中)

以上、定款に基づき、評議員会、理事会を開催した。

◎【その他 共通事項】

■設備の補修・改修〔継続実施〕

→ 来館者の安全や会館維持運営に必要な工事等を行った。

- ◆修理・補修の実施。※平成25年度は、竣工26年目。(平成20年12月に一部改修実施。)  
→屋内非常階段LED化の実施。(各階階段、踊り場部分)  
:587,160円(金額税込)等。

■危機管理、防災・衛生など

- ◆防災計画などを基に、日常での防災管理の徹底と、防災訓練等を実施した。  
→ 専任職員・臨時職員(アルバイト)や関係者の意識高揚と徹底を図るため、  
防火・防災・避難訓練を行った。

・平成25年5月21日(火)・平成26年1月29日(水)

・平成26年2月3日(月)・平成26年2月4日(火)

・平成26年2月5日(火)・平成26年2月6日(水)

- ◆衛生管理には常に注意をはらった。

→ 専任職員・臨時職員(アルバイト)や関係者の日常の意識高揚と発生時対応の徹底を図った。(インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等)

以上